田村市立都路中学校長 富岡 信

## 平成28年度 都路中学校評価結果のお知らせ

春を告げる福寿草がやっと小さな花を開く季節になりました。保護者の皆様にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。また、日頃から本校教育活動へのご理解とご協力に対し、感謝申し上げます。

さて、都路中学校評価の集計結果の概要についてお知らせいたします。集計結果や保護者の皆様からのご意見を今後の学校経営に生かしていきますので、今後ともよろしくお願いいたします。

## 1 保護者アンケートから課題と思われる項目と考察

(「A当てはまる」「Bやや当てはまる」と答えた割合が前期80%に満たなかった質問項目)

A •	В	の割	合(	(%)

	== = = = = = = = = = = = = = = = = = = =			
番号	項目		後期	増減
2	子どもは、将来の夢や目標をもっている。		78	+6
3	子どもは、何事にも積極的に取り組んでいる。	79	78	<b>-1</b>
4	子どもは、授業の内容がわかり、学習内容を理解している。	71	68	-3
5	子どもは、家庭学習の習慣が身についている。	68	68	±Ο
9	子どもは、規則正しい生活(睡眠・食事)をしている。	71	73	+2

- ○項目20のうち、後期は11項目でA・Bの合計が90%を超えている(前期12項目)。
- ○「教職員はわかりやすい授業のために授業の進め方を工夫している」が90%から95%へと5ポイント、「教職員は子どものことについて相談に応じてくれている」が92%から94%へと2ポイント、「学校はいじめのない学校づくりに務めている」が95%から98%へと3ポイント増加した。
- ○「子どもの様子に変化があったり、情報や要望などはその都度学校に知らせている」が、81% から94%へと13ポイント増加した。保護者と学校の連携がよくなっているといえる。
- ●「子どもは授業の内容がわかり学習内容を理解していない」が29%から32%へと3ポイント増えてしまった。また、「子どもは家庭学習の習慣が身についていない」が32%と多い。学習面が課題である。
- ●学習や友人関係について、保護者のほうが生徒より評価が低い項目がある(「学習内容を理解している」生徒76%、保護者68%、「家庭学習の習慣が身についている」生徒83%、保護者68%、「よい友人関係ができている」生徒94%、保護者88%)。保護者のほうが生徒より危機意識をもっている。保護者との連携をさらに深めていきたい。
- ●「子どもは規則正しい生活をしていない」が28%である。規則正しい生活をさせる手立てを 再考する必要がある。

## 2 生徒アンケートから課題と思われる項目

(「A当てはまる」「Bやや当てはまる」と答えた割合が前期80%に満たなかった質問項目)

A・Bの割合(%)

番号	項目	前期	後期	増減
2	将来の夢や目標をもっている。		79	+14
3	何事にも積極的に取り組んでいる。		78	+3
4	授業の内容がわかり、学習内容を理解している。		76	+3
5	家庭学習の習慣が身についている。		83	+17
7	「田村っ子ルール10」を守って生活している。		84	+11
9	規則正しい生活(睡眠・食事)をしている。		79	+13

- ○前期より後期のほうが、C・Dの合計が30%以上である項目が減り、部活動以外すべて評価がよくなっている(楽しく学校へ通っているは同じ評価結果)。特に、3年生の評価が良くなっている。
- ○「将来の夢や希望をもっている」が、65%から79%へと14ポイント増加した。
- ○「よい友人関係ができている」が94%、「思いやりの心が育っている」が88%であり、徳育面は良好である。
- ○「家庭学習の習慣が身についている」が、66%から83%へと17ポイント増加した。
- ○「先生はわかりやすい授業のために授業の進め方を工夫している」が、86%から94%へと13ポイント増加した。
- ○「先生は相談に応じてくれる」と感じている生徒は98%である。
- ●「楽しく学校へ通っていない」が14%、「夢や目標がない」が21%いる。0に近づくよう、 授業や学級、部活動で支援していく。
- ●「家庭学習の習慣が身についている(+17)」、「規則正しく生活している(+13)」生徒は増えているが、「授業の内容がわかり、学習内容を理解している」の伸びは+3であり、理解していない生徒は24%いる。これからも、学習内容が理解できるように授業を改善していかなければならない。